

# 職場体験

国土交通省関東地方整備局千葉国道事務所 調査第1課

(中尾と共同制作)

- 1、所内見学と共同溝編 -

かきのき

2年b組 柿木 康平 10月15日



僕たち中尾職場体験隊

では国土交通省関東

中尾 隊長

柿木 隊員

地方整備局千葉国道事務所に行きました。担当の宮崎さんと田中さん(その他いろいろな人)の協力していただき所内やトンネル、道路工事現場などを見学させていただきました。千葉国道事務所は、主に国道の管理や、補修工事、新しく道路を建設したりしています。



まずは、所内見学で道路情報管理室に行きました。左の写真は管理室の正面にある大画面です。ここで、道路各所にあるカメラから道路の状況を24時間体制で見ているそうです。中と右の写真では、カメラを動かしたり正面の画面の画像を変えたりできるそうです。他にこの部屋では、道路情報電燈掲示板の表示切替もできるそうです。それに気象省から最新の気象状況が知ることができるそうです。なぜ気象情報が必要なのかというと、工事したりするとき天気は大丈夫かとか必要だからだそうです。

## 共同溝

共同溝とは、

今は、暮らしに欠かせないガスや水道、電気、電話などほとんどバラバラに道路の下や地

上にめぐらされています。そのため、それぞれ補修工事のたびに渋滞の原因になる掘り返し道路工事が行われ、近隣の人や道路利用者に迷惑をかけていました。

しかし、共同溝は、ガス、上水道、下水道、電気、電話などをまとめて収容することによって掘り返し工事を減らし、渋滞がなくなり、また地震などの災害時のライフラインが確保され、丈夫になりこれからの暮らしに役立ちます。



(今掘られている共同溝)

ただいま、平成15年7月神明発進立坑から、蘇我到達立坑までの、5.4kmの工事が進行中です。今、発進坑から約2km進んでいます。

## 共同溝の掘られ方



共同溝は、前の写真のシールドマシンという機械で掘られており、防水シートやアスファルトをつける事もやります。管理は、下の写真の中央管理室で、シールドマシンの様子や地下の様子も見れます。

## 第2 プラント

第2プラントでは、シールドマシンから送られてくる泥水を、ふるいみたいなのでろ過し

てまたシールドマシンに、おくります。また電気なども送っています。  
ろ過する際機械音がすごいため、壁が防音効果になっています。  
ろ過して、残った土は産業廃棄物として送られるものもあれば、埋め立て地に送られるものもあります。



ろ過していないもの

1 回ろ過したもの



共同溝から第二プラントへの道

## 感想

今回、国土交通省での体験はふつうじゃできない体験ができたと思います。  
職場の人たちがいろいろと優しく接してくれてよかったです。特に、共同溝の工事現場の地下がみれておもしろかったです。